



能美ふるさとミュージアム館内紹介 ～エントランスホールの楽しみ方 ③～

能美ふるさとミュージアムには、無料でお楽しみいただけるスペースがたくさんあります。今回はその中から『学習スペース』をご紹介します。

エントランスホールの奥には、テーブルと椅子、本棚が配置された学習スペースがあります。このスペースでは、能美市発行の遺跡の発掘調査報告書や、生物生息調査報告書、専門書、ガイドブックのほか子どもむけの絵本など、能美に関わる本を読むことができ、テーマ展示室や「こどもミュージアムのみつけ」で知った、能美のことや古墳のことを、より深く学ぶことができます。

さらに、学習スペースに設けられた大きく高い窓からは、和田山の自然をゆっくりと眺めていただけます。春は桜、夏は新緑の木々、秋は紅葉や彼岸花、冬は雪や寒椿…と四季折々に変化する自然を堪能できます。

学習スペースの床は木目調のタイル、テーブルや椅子、本棚は木製で、木のぬくもりが感じられる落ち着いた雰囲気、小さなお子様からお年寄りまで、幅広い年齢層の方が、書籍を読んだり、和田山の自然を眺めたりと、思い思いの楽しみ方ができる市民の憩いの場です。館内には自販機を設置してありますので、能美ふるさとミュージアム学習スペースでゆっくりとくつろぎの時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。



学習スペースから見る雪化粧した和田山

NEWS ヤマカガシぬいぐるみの名前が決定！

「こどもミュージアムのみつけ」に住むヤマカガシのぬいぐるみ。「へびっけ」「がっしー」「がんぶっちー」の3つの候補の中から、12月13日、名前を決める投票が能美ふるさとミュージアムのにぎわいイベント内で行われ、「へびっけ」くに決定しました！

「のみつけ」に住んでいるへびなので、「へびっけ」。皆さま、ぜひ「へびっけ」くに会いに来てください。



のみつけ内のどこにいるのか見つけてね

INFO 「こどもミュージアムのみつけ」は0歳の方から利用可能です

のみつけは当初、感染症対策のため対象年齢を3歳から12歳（小学校6年生）までとしていましたが、現在は清掃を徹底し、0歳の方からご利用いただいています。利用時間、利用人数を制限する場合があります。ご理解とご協力をお願いします。

問 / 能美ふるさとミュージアム (☎ 58 - 5250 FAX 58 - 5251)

ひぼ・ゆずのEコでえこっさ



小型家電のリサイクルについて

・回収場所：根上くるくる工房、ふれあいリサイクルセンター、辰口リサイクルセンター

・回収品目：電気や電池で動く小型の家電製品

ストーブ、扇風機、ラジオ、炊飯器、電子レンジ、プリンター、充電アダプタなど

・お持ち込みの際は、分別のため係員に声かけをお願いします。

・発火の恐れがありますので、ストーブは灯油を使い切ってください。また電池や蛍光灯は抜いてください。

問い合わせ 生活環境課 (☎ 58 - 2217 FAX 58 - 2292)





いしかわ動物園にズームイン！

Zoo

文：いしかわ動物園

■「レオ」、3代目への遠い道のり

今回は、カリフォルニアアシカのオスについて紹介しましょう。いしかわ動物園の初代は、金沢サニールランド時代にアメリカから来園した「ダン」で、2008年9月に亡くなるまで当園の人気動物でした。そして同年12月に海遊館（大阪市）からやって来た二代目「クー」が、現在もその後を引き継いでいます。ただクーもそろそろ熟年の域に差ししかかっており、最近では体調を崩すことも。そのため、いつかはやって来るその日を想定して、次代を担うオスの確保を視野に入れなければならない状況でした。

朗報は、2018年8月6日に届きました。メスのアシカ「ショコラ」との間に生まれた4頭目の子どもが、待望のオスだったのです。ただ、皆さまからの投票で「レオ」と名づけられた三代目候補は、無類の遊び好き。当園でのアシカの体調管理は、飼育係とのトレーニングを通じて行いますが、レオにとっては飼育係の指示など、どこ吹く風のようなようです。

2歳になって、最近ではようやくいくつかの指示を理解するようになりました。それでも、三代目への道のりはまだまだ遠いようです。



▲初代「ダン」(2005年3月撮影)



▲二代目「クー」(2012年5月撮影)



▲三代目「レオ(左)」(2021年1月撮影)

九谷焼探訪

九谷焼の作品や催しを紹介！

今月のコラム「小野窯 百老図平鉢について」

百老図はめでたい吉祥紋様として、工芸品の意匠として好まれて使われてきました。その潮流のもと「文人趣味」にあります。教養を積んだ文化人らが理想とした暮らしの範を中国の文人たちに求めたことに始まります。煎茶を好み書画を愛し、静謐な自然環境の中で仙人の悟りを求めます。世塵から離れた山林に雅遊する老人らは、仙人の域に達した人々であるとともに、哲学的談義である清談や琴棋書画にふける、隠士（山林で理想を追求した人々）と解釈できるのです。

この絵皿は、九谷庄三が若い時に小野窯で描いたものと伝えられています。百老とは沢山の老人という意味で、実際には百人描かれていません。想像を逞しくすれば、もう一枚、絵がわりの百老図皿があったのかもしれませんが。面白いのは、この白磁の大皿には窯キズ（本窯焼成時に原料の土や釉の関係でついたキズ）があるのですが、それをうまくキズ跡に沿って老人が持つ杖として描いています。上絵でキズを隠す工夫です。素地を大切にしたい九谷だからこその絵付けといえます。



小野窯百老図平鉢 江戸後期 銘「小野」



唐人物の持つ「杖」に注目（矢印）

五彩館からのお知らせ

問い合わせ 能美市九谷焼美術館 | 五彩館 | (☎ 58-6100 ☎ 58-6086)

【展 示】

■日本工芸会石川支部陶芸部展（緑の間）～3月14日（日）

■コレクション展Ⅲ 現代名工遺作展（紫の間）～3月14日（日）

◆入館料◆ 一般 430円・75歳以上 320円・高校生以下無料（五彩館と浅蔵五十吉記念館の共通券です）

※入館に際しては、基本的感染対策（マスクの着用・検温・手洗い等）にご協力をお願いします。

みんなの図書館



※開館時間、休館日については、ホームページ、各図書館だよりをご覧ください。

おすすめの一般書



神様には負けられない

ゆきひさ
山本 幸久 [著]
新潮社

25歳で会社をやめ、ゼロから義肢装具士を目指すさえ子。実習に、恋に悪戦苦闘する中、「ほんとのバリアフリー」と未来の自分が少しずつ見え始め…。再スタートを応援するお仕事小説。

おすすめの絵本



うしとぞん

たかばたけ なお
高島 那生 [作]
小学館

今日はこれからうしに登ります。前足の短い毛をつかんで、汗だくになって登ります。なぜ登るのかって？ そんなこときいちゃあいけません。ようやくたどり着いたうしの背中には、なにが待っているのでしょうか？

おすすめの児童書



しかくいまち

ともしり
戸森 しろこ [作]
理論社

その町には、しかくいひとが住んでいます。しかくいひとたちには口がなく、言葉が話さず、うれしいとか、かなしいとか、そういう「気持ち」がほとんどないのです。ある日、その町に1人の男の子が流れつき…。

今月の手話

手話表現：能美市議会議員 居村 清二



動画配信中

手話ページQRコード▶



節分

鬼は外、福は内

①【鬼】+②【出る】+③【福・幸せ】+④【内】で、「鬼は外、福は内」になります。



① - 1、① - 2
左手で豆まきの升を持つようにし、右手で豆をまくしぐさをする。



【鬼】①
両手の人差し指を立てて頭にのせる。（角が2本ある様子）

【（建物から）出る】② - 1、② - 2
建物の屋根に見立てた左手の下から、指をそろえた右手を前へ出す。

【福・幸せ】③ - 1、③ - 2
あごをつまむようにして、撫でおろしながら指を閉じる。

【内】④
左手のてのひらを自分に向け空間を仕切った内側を、右手人差し指で指さす。



問 / 福祉課 (☎ 58-2230 ☎ 58-2294)

わたしたちの町

File36 坪野町



専用の茶器でお茶を淹れる小菅さん。「台湾茶は世界最高のお茶」と話します。香り高く、渋みがないので飲みやすいです。

坪野町で、茶藝館茶楽^{ちやげいかんちやらく}を営んでいます。おかげさまで、4月で3周年を迎えます。私と台湾茶との出会いは20年前まで遡ります。当時仕事で台湾に住んでいたのですが、接待が続く、お酒を飲む機会が多くて体調を崩していたのです。そんな時に台湾人の同僚にお茶を勧められ、毎日飲んでいたら体調が良くなったのです。その時から自分もいつか台湾茶の店をしたいなと思っていました。

出店するときには、全国でよさそうな古民家を探しました。能美市は、海、山、平地に恵まれ、山菜取りや雪景色など、春夏秋冬の楽しみがあります。そして、小松空港が近くて台湾へのアクセスも良く、本当に魅力的でした。この坪野町の古民家は、内覧したその日に購入を決めました。

この町は大きなポテンシャルを秘めたパワースポットだと感じています。高齢化が進み、使わなくなった田んぼや畑を、市内外の若い人が借りて耕作しています。おいしい水で作った農薬不使用の米や野菜は本当においしいです。



建設中の多目的スペース。ここから屋根や壁を仕上げていく予定です。今年春の完成を目指しているそうです。



茶藝館 茶楽

こすげ やすお
小菅 康雄 さん

私も昨年は畑だけでなく、一反田んぼを借りて、初めて米作りに挑戦しました。自分たちで作ったお米はどんなブランド米よりおいしく感じました。

私には、坪野町で自給自足の生活を送るコミュニティ「坪野フォレスト」を作るとい夢があります。そのために、いまは坪野で採れた野菜なども売る多目的スペースを建設中です。コロナや大雪の影響で、お客様が来ない日はずっとその作業です。悪いことも、いいことなるように考えています。

ここから、私たちが感じている坪野の魅力を全国に発信できたらいいと思っています。

File35 中庄町



中庄町丸いも倶楽部による加賀丸いもの種芋植え付けの様子。会員の年齢層は広く、子どもも楽しみながら参加しています。(2019年撮影)

南さん 私たちは加賀丸いもの栽培と普及を目指す中庄町丸いも倶楽部として活動しています。倶楽部は丸いもの生産者である本さんと中庄町の有志によって平成25年2月に設立しました。

本さん 私は昔から農業をしていてというわけではなく、丸いものを作り始めたのは定年後からです。近所の丸いも農家の人から引き継いで、栽培を始めました。作り始めて12年になります。

南さん 加賀丸いものは100年以

上前から、中庄町を含めた栽培に適した土壌がある一部の地域のみで作られる貴重な芋です。先人から受け継がれてきたこの伝統ある野菜を次の世代に伝えたい、加賀丸いものおいしさを皆さんに知ってもらいたいという思いから倶楽部はできました。

本さん 始めは町の中で活動していましたが、徐々に裾野が広がり、近年は町外からも多くの方が参加してくれています。楽しむことを基本として、種芋の植え付けや収穫祭など、栽培や行事を通して交流しています。地域の皆さんの力をお借りして丸いもの料理教室を開催したこともあります。



加賀丸いもの苗に、より多くの日光が当たるようにする大切な作業である「つるまき」の仕方を園児に教える南さん(左)と本さん(右)(2019年撮影)



中庄町丸いも倶楽部

もと ちゅうぎ
本 忠儀 さん(左)

みなみ しゅうじ
南 修二 さん(右)

南さん 地元の保育園児を対象とした丸いもの栽培体験も毎年行っています。地域にこういう特産物があると子どもたちに知ってもらい、大きくなったときに丸いものや体験のことを思い出してもらえれば嬉しいです。

昨年は残念ながら人が集まるような行事を開催できませんでした。今年も丸いものオーナーは募集しています。(※作ったことがない方もぜひ参加してみてください。)

本さん 北陸新幹線の新線開業があるので、丸いものは今後関西圏で売れると期待しています。私たちもPRしていきたいです。

※本紙 19 ページに関連情報を掲載しています。